

# “日清食品カップ”

## 第37回全国小学生陸上競技交流大会

### 競技方法・表彰

#### 1. シューズ

- ①競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。
- ②日本陸連競技規則内、シューズ規則（2020年度改定・第143条・競技用靴）に関しては、ルール適用外とする。

#### 2. トラック競技

- ①スタートの合図はイングリッシュコールとする。
- ②スタートはクラウチングスタートとする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
- ③リレー競走（男女混合4 x 100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。（補欠についても男女各1名ずつとする）
- ④リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは30mとし、ゾーンの入口から20mが基準線となる。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑤リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑥リレー競走のエントリー者のうち、リレー競走に出場しない選手は友好レース（100m）に出場できる。
- ⑦80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- ⑧100m（5年・6年）、男女混合4 x 100mRでは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8番までの選手・チーム、B決勝を予選9番～16番までの選手・チーム、C決勝を予選17番～24番までの選手・チームとする。

#### 3. フィールド競技

- ①走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。
- ②走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
- ③走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- ④ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
- ⑤ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。  
※羽だけを持って投げることは禁止する。

#### 4. コンバインド競技

- ①本大会（全国大会）におけるコンバインド競技は以下の順で行う。  
男子コンバインドA：走高跳 80mハードル  
女子コンバインドA：80mハードル 走高跳  
男子コンバインドB：走幅跳 ジャベリックボール投

女子コンバインド B：ジャベリックボール投 走幅跳

②コンバインド A・Bとも2つのグループ（「第1グループ」「第2グループ」）に分かれて行う。

③各種目の得点は、『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2020年度版）』による。

※『JAAF 小学生コンバインド種目得点表（2020年度版）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開

④本大会では、80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。

⑤本大会では、100点以下の記録はすべて100点とする。

⑥本大会では、スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。

⑦スタートまたは試技を行なわない場合は、棄権とし、0点とする。

⑧最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。

⑨2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

※都道府県陸上競技協会が主催する都道府県大会においては、主催者が定めた競技方法とする。

## 5. 表彰

①各種目（友好100mは除く）の1位から8位までの入賞者には賞状と副賞、9位から24位までの入賞者には賞状、その他の出場者（記録無し、失格を除く）には記録証を授与する。

※上記を含む、その他詳細については、【監督・競技者注意事項】として後日提示する。

以上